



ほくとライブラリー 

新屋図書館だより



発行 秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26

TEL 018-828-4215

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/al/default.htm>

(携帯用)http://www.city.akita.akita.jp/i/ed/ml/c_5/1.htm

No. 195

H30. 1月号



謹賀新年



新屋図書館は開館20周年を迎えます
皆様にとりまして幸多き年となりますように
本年もよろしくお願い申し上げます

12月1日から図書館システムが変わりました!



新しいシステムのキャラクターを紹介します

なまえ: アイリー (女の子)

おもさ: くるみ3個分

好きなたべもの: すんだ、萩の月

お気に入りの本: キャベツくんとブタヤマさん

おしゃべりなたまごやき

♪新屋図書館のカウンターでお待ちしています♪

1月のおはなし会



1月6日(土) 14:00~14:40

「お正月あそび」

～福笑い・かるた・お手玉など～
(研修室・幼児～小学生)



1月16日(火) 10:30~11:00

「あったかいおはなし会」

～手袋をつかったおはなし～
(おはなしの部屋・赤ちゃん～)

新刊案内

お風呂自慢の宿2018 温泉好きに贈る、宿選びの決定版
東北・北海道編 / 東海・北陸・信州・関西・中国四国編
舵社 請求記号 291 (国内ガイドブック)

温泉好きには見ているだけでもたまらないガイドブック。効能豊かな良質な湯、絶景を楽しむ展望風呂、ハレの日の料理に舌鼓。一度は訪れてみたい憧れの宿、何度も通いたくなる癒しの宿、五感で楽しむ自分好みの湯宿を探してください。エリア別に2冊にわかれています。



マルカン大食堂の奇跡

北山 公路 / 著
双葉社 請求記号 673 (百貨店)

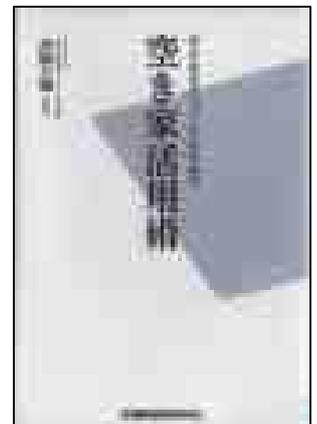
お隣り岩手県のお店ながら、マルカンを知っているという人は多いのでは? 2016年に閉店が決定。しかし、わずか8か月後の2017年2月に、昭和のデパートは大復活を成し遂げました。始めに立ち上がったのは高校生?! たくさんの人の想いがつまったノンフィクションです。



小さなまちづくりのための 空き家活用術

高橋 大輔 / 監修
建築資料研究社 請求記号 673 (空き家問題)

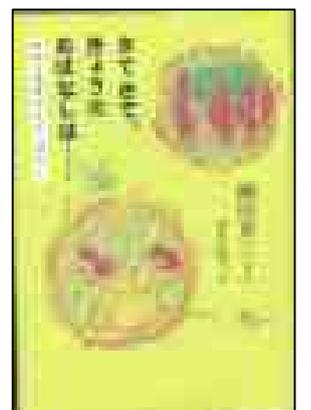
所有者は誰で、解体するにも誰が費用を出すのか、空き家問題は単純ではないだけに年々深刻さを増しています。しかし、空き家を悪いものとするのではなく、魅力あるまちづくりの軸と考えるみてはどうでしょう。空き家の利活用が人を繋いだ実例をふんだんに取り上げています。



さてさて、きょうのおはなしは・・・

瀬田 貞二 / 再話・訳
福音館書店 請求記号 90サ (昔話)

「ぶんぶくちやがま」「三びきのこぶた」なんとなく知っているけれど子どもに教えるには自信がない・・・そんな日本と世界の昔話28編。美しい日本語で、昔話の面白さを味わうことができるはず。挿絵はないけれど、素敵な絵を心の中に描きながら声に出して読んでほしい一冊。



図書館員（鎌田 友理）のおすすめ本

書名

こちら本の探偵です

著者名

赤木 かん子／著

出版社

径書房

所蔵

新屋・明德・土崎

請求記号 019 (読書)



みなさんは、自分が小さい頃に読んだ本が思い出せずにもどかしい思いをした経験はありますか？ なにせ子供の頃の記憶なので、覚えているのは表紙の雰囲気とうっすらとした話の筋だけ、題名も作者もまったくわからない、探したくてもそんな情報だけではとても見つけれっこない……。

これは児童文学評論家の赤木かん子さんが、そんな悩める方々の声を聴き、「本の探偵」として活動した記録をまとめた本です。

読んでみると、実に多くの方が“子どもの頃に読んだあの本”を心に持っていて、その思い出を何年、何十年たっても忘れずに覚えていることに驚きます。また、探し当てた本に関する赤木さんのコメントも楽しく、誰かの思い出の本を自分でも読んでみたくくなります。

現在は、赤木さんの公式サイトに「本の探偵」コーナーが設けられており、たくさんの方が集まって本の情報を交換しあっています。探したい思い出の本がある方は是非どうぞ！

図書館員（能登谷 志歩）のおすすめ本

書名

明日は、いずこの空の下

著者名

上橋 菜穂子／著

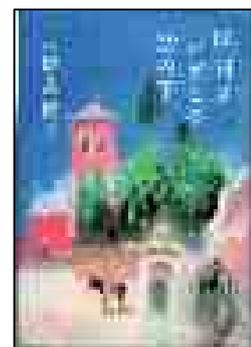
出版社

講談社

所蔵

新屋・明德館・雄和

請求記号 914ウ (日本のエッセイ)



著者の上橋菜穂子さんが学生時代から現在までに行った、旅の記憶が綴られています。

17歳の夏、イギリスで出会った印象深いシスターとの一幕からはじまり、アボリジニの研究のために訪れたオーストラリア、かの有名なアーサー王の眠るウェールズなどなど。著者が好奇心の赴くままに訪れた国々の、美しい景色や圧倒されるほどの大自然、そこで出会った厳

しくも温かい人達との交流が色鮮やかに描かれていきます。予定調和とは真逆の旅の中、たまに起きるアクシデントや珍事件も笑い話にしてしまう（オーストラリアでのサバイバルな日々は必見です！）、そんな著者の心の広さも垣間見ることができます。

普段はインドア派な私にも「旅もいいかもな」と、思わせてくれた一冊でした。

記事になったお酒の話題あれこれ・・・小坂のワイナリー・・・

昨年10月、道の駅「こさか七滝」の隣接地に「小坂七滝ワイナリー」が完成しました。

小坂町は、十和田湖の噴火による火山灰が堆積しているため水はけがよく、ブドウ栽培に適した環境で、これまでも「小公子」「ワインブランド」「山ソービニオン」などワイン用のヤマブドウ交配種が栽培されていました。小坂町産ワインの2017年度の予定生産量は、720ミリリットル換算で約9000本を目指しており、赤とロゼを中心に味わいの異なる数種類が商品化されるそうです。

今年は小坂町まで足を延ばし、できたばかりのワイナリーを見物してから、特産の「桃豚」や「十和田湖ひめます」の料理と一緒においしいワインをいただく…なんて小旅行はいかがでしょう？

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】

秋田魁新聞 2017年10月11日
毎日新聞 2017年10月20日

平成ってどんな時代？ …平成9年…

前年末に発生したペルー日本大使公邸人質事件が、127日間という長い月日をかけて平成9年4月22日にゲリラ14人全員を射殺し終わりをづけました。エジプトでは、武装グループが無差別に銃撃し、日本人10人を含む観光客58人が死亡するという悲惨な事件も起こりました。8月にはダイアナ元英皇太子妃の乗った車がパリ市内で事故を起こし、36歳の若さで亡くなるなど、悲しい事件事故が起こった年でした。国内に目を向けても、北海道拓殖銀行が破たん、山一証券が倒産、県内でも秋田木工、協働社など大型倒産が相次ぎ、平成9年を表す漢字も「倒」が選ばれました。神戸では中学3年生の「普通の」男子生徒が幼い子どもの命を奪う「酒鬼薔薇聖斗事件」という日本中を震撼させた目を背けたくなる事件も。

でも、決して暗い話題ばかりではありません。サッカーワールドカップフランス大会の予選で日本がイランを下し、初めてワールドカップ出場を果たしました。そして、秋田では、なんといつでも秋田新幹線こまちの開業が大きなニュースに。平成9年は、こまちブームが沸き起こった年でした。

【参考資料「秋田魁年鑑1999」】

図書館員のひとりごと

あけましておめでとうございます。皆様、今年のお正月はどのようにお過ごしでしょうか？

おすすめ本の紹介でも申したとおり、私はインドア派……の域を出て、出不精でございます。初詣に行ったりデパートの初売りセールを見に行くよりも、ストーブの前でみかんでも食べながら、読みかけの本を読んだり新作のゲームをやったりする方が性に合っています。

とはいえ、さすがに一歩も外に出ないのは不味いと、密かにお出かけプランを考えている今日この頃。友人も誘って遠出でも——えっ、ゲーム内でイベントが？ 漫画の最新刊が発売！？ 出かけてる場合じゃない。（能登谷）

今年の12月から働いています、長井です。新屋図書館には家族に連れられて幼稚園の頃から通っていました。特に祖父は自身が読書家だったので、私が「図書館に連れて行って」と言うとても喜んでくれました。ですので、今は大好きな新屋図書館で働けることを幸せに思います。そして皆様にとっても新屋図書館が特別な場所になれましたなら幸いです。

さて、私生活では犬を3匹飼っていて、休日は雄物川周辺をぞろぞろと散歩しています(笑) その様子が奇妙(?)なようで、よく近所の方に声をかけて頂いています。もし見つけたら気軽に話しかけてください(笑) (長井)